



成蹊高校教諭時代

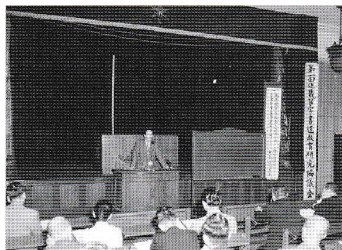


中山貞子と結婚
(*35.11.21)



長野師範学校野球部エースとして活躍

一九〇七(明治40)年	0歳	9月20日	長野県東筑摩郡神林村(現松本市神林)に生まれる
一九二二(大正11)年	15歳	3月	松本実業教育学校卒業(小学校准教員免許状受領)
一九二四(大正13)年	17歳	4月	長野県東筑摩郡朝日尋常高等小学校准訓導
一九二八(昭和3)年	21歳		比田井天来より信山の号を授かる
一九二九(昭和4)年	22歳	3月	長野師範学校卒業(小学校本科正教員免許状受領)
一九三〇(昭和5)年	23歳	3月	同校専攻科卒業
一九三二(昭和7)年	25歳	4月	長野県諏訪郡下諏訪尋常高等小学校訓導
一九三五(昭和10)年	28歳	3月	上京
		4月	大東文化学院本科卒業(漢文科中等教員免許状受領)
			成蹊学園訓導 小学校に奉職
			宮島詠士に師事
一九三六(昭和11)年	29歳	11月21日	中山貞子と結婚(於松本市) 新居を東京都武蔵野市吉祥寺にかまえる
一九三八(昭和13)年	31歳	8月	長女かつ子誕生
一九三九(昭和14)年	32歳	3月	文検習字科合格(習字科中等教員免許状受領)
			長男節夫誕生
			立正大学講師
一九四一(昭和16)年	34歳	12月	大東文化学院高等科卒業(漢文科高等教員免許状受領)
一九四二(昭和17)年	35歳	4月	成蹊高等学校教諭
一九四三(昭和18)年	36歳	7月9日	『隷書入門』『楷書入門』(紫雲書道会発行)
		8月	宮島詠士死去(享年77歳)
		12月	日満支三国親善展最高賞受賞
一九四七(昭和22)年	40歳	5月	次男信之誕生
		3月	『基本より手紙まで 現代女子ペン習字帖』(鑑古書院発行)
		5月	『国民三帖(楷・行・草各巻)』(鑑古書院発行)
一九四八(昭和23)年	41歳	7月	『基本より手紙まで 中等男子ペン習字帖』(鑑古書院発行)
		8月	全国書道科教員再講習会・主催東京都高等学校書道研究会(於成蹊大学)



書教育に関する幾多の講演を行う



武蔵野市吉祥寺の自宅にて



一九五九(昭和34)年	52歳	1月	10月
一九五八(昭和33)年	51歳	7月	3月
一九五七(昭和32)年	50歳	11月	10月
		8月	5月
一九五六(昭和31)年	49歳	4月	4月
		12月	11月
一九五五(昭和30)年	48歳	4月	3月
一九五四(昭和29)年	47歳	9月	5月
一九五二(昭和27)年	45歳	4月	11月
		10月	7月
一九五〇(昭和25)年	43歳	12月	11月
一九五一(昭和26)年	44歳	4月	10月
		7月	4月
一九四九(昭和24)年	42歳	4月	10月

成蹊大学講師・同高等学校教諭(一九五二年3月まで)
日展初入選

文部省教育課程審議会委員

高等学校芸能科書道学習指導要領編集委員会委員長

講演「毛筆習字復活の内容と経過報告」・主催全書作家連盟(於東京藝術大学)

『書道単元学習と評価法』(世界社発行)

毎日書道展審査員

日展特選(2回目一九五三年特選朝倉賞)

「高等学校学習指導要領芸能科書道編(試案)」刊行(編集委員長)

東京教育大学講師

『書の歴史と鑑賞』(上田書房発行)

『教育漢字新字体ドリルブック』(教育図書研究会発行)

「高等学校学習指導法芸能科書道編」編集委員

『硬筆書範(上・中・下巻)』(武蔵野書道研究会発行)

講演「毛筆習字復活について」・主催福井県教育委員会(於福井大学)

月刊書道研究誌「書泉」創刊 一九六一年3月号より「書象」と改名し、一九九七年2月号

(通巻) 495号まで企画編集

大東文化大学講師(一九八四年まで)

『中等書範 指導の研究』(教育図書発行)

文部省高等学校教育課程審議会委員

東京教育大学専任講師、同附属中学・高等学校教諭

講演「書道教育の方向」・主催北海道教育委員会(於旭川市内小中学校)

教材等調査研究会高等学校書道小委員会委員(一九六一年まで)

「高等学校芸能科書道指導書理論編」刊行(編集委員)

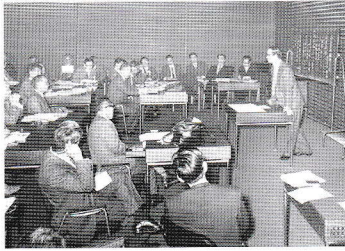
全日本書写書道教育研究会(略称 全書研) 結成準備会代表として発足に尽力し、一九五九

年1月に目黒高等学校にて準備大会、4月に東京国立博物館講堂にて結成大会が開催され全

書研が誕生

日展審査員 以後通算9回(一九六二、六九、七五、七八、八〇、八二、八四、八七)

講演「書写書教育の新方向」・主催全日本書写書道教育研究会(於目黒高等学校)

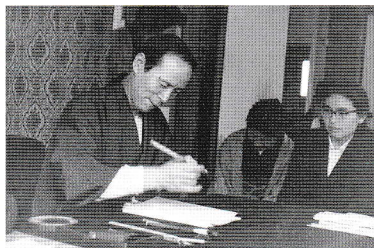


全書研理事長として書教育の振興に尽力



NHK教育テレビへ生出演('60.12.11)

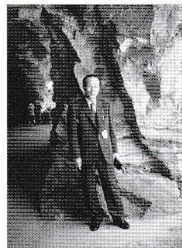
一九六五(昭和40)年	58歳	2月	書道教育連合(書教育者と書家による)議長
一九六三(昭和38)年	56歳	9月	『現代の書教育』(木耳社発行)
		5月	講演「書道教育の今後」・主催埼玉書道教育研究会(於埼玉大学)
		11月	講演「書写・書道教育について」・主催九州書教育研究大会(於宮崎大学)
		9月	全書研理事長
		8月	書道講習会講師・主催日本書道連盟(於中央大学)
		8月	北海道全道講習会講師・主催北海道教育委員会(於苫小牧市)
		6月	新指導要領高等学校内容解説のための講演会東北・北海道会場講師
		6月	ドイツ・ダルムシュタット展出品
		5月	『中等硬筆書範(上・中・下巻)』(文教書房発行)
一九六二(昭和37)年	55歳	1月	第1回書象展(於銀座画廊)以後毎年開催
		11月	全国指導主事会議の新教育課程説明会にて講演
		7月	東京教育大学助教授
		4月	新指導要領高等学校内容解説のための研究協議会東日本(東京)会場講師
		3月	(5月 西日本(香川)・中部日本(福井)各会場講師)
一九六一(昭和36)年	54歳	2月	同内容で10月、広島県熊野においても講演
		1月	謹慎書道会初代副理事長
		12月	講演「新教育課程の解説」・主催東京都私立中学高等学校協会(於立正大学)
		8月	講演「今後の書教育のあり方」・主催長崎県書教育研究会(於長崎市勝山小学校)
		7月	山形県書道講習会講師・主催大東文化大学(於山形市)
		6月	講演「書教育と人間形成」・主催宮城県教育委員会(於仙台市公民館ホール)
一九六〇(昭和35)年	53歳	12月	NHK教育テレビ「筆で書く文字」に出演
		11月	ドイツ・フライブルグ展出品
		9月	講演「今後の毛筆教育」・主催奈良県国語科(書写)書道研究会(於奈良教育大学)
一九五九(昭和34)年	52歳	4月	講演「学校における今後の毛筆教育」・主催日本放送協会 NHK教育テレビ放映
			全書研副理事長
			『高等学校芸術科書道指導書鑑賞編』刊行(編集委員)



自宅での稽古風景



東京教育大学退官の謝恩会で妻・貞子と
(’71.4)



初の海外研修旅行
(’67.7)

一九七二(昭和46)年	64歳	2月	以後数回小中学生席書大会で講演 フィラデルフィア展出品・主催毎日新聞社
一九七〇(昭和45)年	63歳	3月	『現代書道全書(全5巻)』(尚学図書発行)
		9月	講演「正しい字の書き方」・主催須坂市教育委員会(於須坂市須坂小学校)
		10月	日中書法国際会議において講演「日本の書道の現状」(於台北市)
		3月	パリ・チュエルヌスキー展出品・主催毎日新聞社
		11月	講演「小・中・高校の指導」・主催三重県教育委員会(於桑名市三輪小学校)
		11月	講演「毛筆のとり扱い方と小中学校の書道入門」・主催千葉県教育委員会(於天羽湊小学校)
		11月	講演「書の世界性について」・主催飯田、下伊那教育委員会(於下伊那教育会館)
		11月	講演「新教育課程と毛筆教育」・主催諏訪市教育委員会(於諏訪市中洲小学校)
		11月	改組第1回日展「堅勁」出品 内閣総理大臣賞受賞
		6月	講演「新教育課程の特質」・主催福井市教育委員会(於福井市丸岡中学校)
一九六九(昭和44)年	62歳	1月	朝日新聞社主催現代書道二十人展招待出品 以後一九七一〜七五年を除き連続出品
		10月	全書研副会長
一九六八(昭和43)年	61歳	3月	第1回個展(於東京日本橋三越)
		10月	NHKテレビ「明日は君たちのもの」に出演 ―字を書く心―
		10月	講演「新教育課程中間報告と書教育の方向」(於長野)
		9月14日	朝日新聞「論争」欄に新教育課程の毛筆教育について賛成論執筆
		7月	欧米各国巡回展出品親善訪問(一ヶ月間の初の海外旅行)
一九六七(昭和42)年	60歳	4月	東京教育大学・同大学院兼任教授(一九七一年3月定年退官)
		8月	講演「書写教育の指導精神」・主催北海道書写教育研究会(於札幌市)
		8月	同内容で鹿児島市においても講演
一九六六(昭和41)年	59歳	1月	文部省書写書道関係専門調査委員会委員(中学校担当 翌年高等学校兼任)(一九六八年まで)
		8月	講演「書教育と人間形成」・主催日本教師の会(於仙台市)
		8月	講演「書教育の現状と将来」・主催熊本県教育委員会(於熊本大学)
		6月	東京教育大学教授
		3月	講演「正しい書写・書教育」・主催三重県書道教育研究会(於鳥羽市)
			同内容で8月、青森県・山形県においても講演



県歌「信濃の国」歌碑を揮毫('76.9)

一九七二(昭和46年)	64歳	12月	『書道技法講座(楷書)張猛龍碑』(二玄社発行)
一九七二(昭和47年)	65歳	4月	『入門書道(全3巻)』(尚学図書発行)
		7月	サクラメント展出品・主催毎日新聞社
一九七三(昭和48年)	66歳	11月	(財)全国書美術振興会顧問
		11月	講演「今後の書写・書道の方向」・主催長野県教育委員会(於松本市丸ノ内中学校)
			「高等学校指導資料芸術科書道」作成協力者
一九七六(昭和51年)	69歳	4月	女子美術大学講師(一九九〇年まで)
		8月	(財)信濃教育会主催の長野県教員を対象とした夏期基礎講座書道講師
			以後一九九四年まで毎年8月に県下各地を巡回し二会場において主任講師を務める
			県歌「信濃の国」歌碑を揮毫し建立される(於長野市・松本市)
一九七七(昭和52年)	70歳	9月	書道公開講座講師・主催大東文化大学(於大東文化大学)
		9月	一九八八年まで連続
		10月	第2次書家訪中団名誉団長として初訪中・主催全国書美術振興会
		12月	『現代日本書法集成 上條信山書法』(尚学図書発行)
一九七八(昭和53年)	71歳	3月	第1回今日の日本書展「スペイン展」出品 以後毎年各国展出品
			(以下、訪問を伴う出品のみ記載)
		6月	改組第9回日展出品作「汲古」日本芸術院賞受賞 日本芸術院に収蔵される
		6月	長野県護国神社の大幟を揮毫
		7月	第4次日中友好書道教育者翼訪中団総団長・主催日中友好書道教育者協会
		11月	講演「書教育と書の世界性」・主催大分県書道研究会(於大分市)
一九七九(昭和54年)	72歳	4月	敬老之碑を揮毫し建立される(於松本市)
		5月	日展理事
		6月	第2回今日の日本書展「フランス展」出品・訪仏
一九八〇(昭和55年)	73歳	5月	第3回今日の日本書展「イタリア展」出品・訪伊
			第2回個展(於東京セントラル美術館)
一九八一(昭和56年)	74歳	4月	朝日現代書道二十人展第25回展記念日中書道交流展(北京・南京)出品・訪中
		4月	『上條信山作品集(Ⅰ)』(書象会発行・大塚巧藝社制作)
		6月	講演「今後の書道の方角」・主催中日新聞社(於名古屋市)
		10月	松本市神林下神町会の大幟を揮毫
		11月	茅野市豊平下古田宮原郷の大幟を揮毫



年	月	行事
一九八二(昭和57)年	11月	勲三等瑞宝章を受ける
一九八二(昭和57)年	4月	日本の書展「香港展」出品・主催(財)全国書美術振興会 以後各国展出品(以下、訪問を伴う出品のみ記載)
	5月	日展常務理事
	9月	日新書法交流展出品・訪新(シンガポール)
一九八三(昭和58)年	3月	謙慎書道会董事
	3月	講演「今後の書道のあり方」・主催山梨県書写書道研究会(於甲府市)
	4月	講演「二十一世紀の書の対策」・主催茨城新聞社、書美術振興会(於水戸市)
	4月	講演「書の国際性」・主催九州書道連盟、福岡新聞社(於福岡市)
	5月	第6回今日の日本書展「オーストラリア展」出品・訪豪
	5月	講演「書道と人間性」(於伊那市弥生ヶ丘高等学校)
	8月	『現代臨書大系(全10巻)』(尚学図書発行)
	8月	第9次日中友好書道教育者翼訪中団総団長・主催日中友好書道教育者協会
	8月	保定市蓮池書院古址(古蓮花池)見学
	8月	日中書法教育者シンポジウムにて講演「日本の書教育」(於北京市国際会議場)
	10月	上條信山展(於日本民俗資料館・現松本市立博物館)
一九八四(昭和59)年	2月	「高等学校指導資料芸術科書道(理論編)」作成協力者主査
	3月	成田山全国学生競書大会実行委員長
	3月	講演「現代仮名作品改造論」・主催謙慎書道会(於東京都美術館講堂)
	6月	日本書法巨匠展出品・主催読売新聞社(於ワシントン・ニューヨーク)
	7月	講演「書の芸術性」(於ニューヨーク世界貿易センタービル)
	7月	第7回今日の日本書展「スペイン展」、第8回「オランダ展」出品・訪欧
	8月	張裕釗・宮島大八師弟書法展覧(於北京中国美術館)
	11月	読売書法会創立 総務に就任し審査員・企画委員・審査部長・審査顧問等を歴任
一九八五(昭和60)年	4月	講演「書の世界性と今後の書教育」・主催長崎県美術協会(於長崎県立美術館)
	5月	韓日書芸交流展出品・訪韓
	7月	日本の書展「香港展」出品・訪香
	7月	同展記念講演「書の国際性とその対策」・主催全国書美術振興会(於香港芸術センター)
	7月	香港中央テレビ「おはよう香港」にて日本と中国の書について出演



(’94.6.5)



信濃教育会主催夏期講習会で指導
(’89.8.3)



妻・貞子とデュエット(’87.4.23)

一九八五(昭和60)年	78歳	8月
一九八六(昭和61)年	79歳	3月
一九八七(昭和62)年	80歳	2月
一九八八(昭和63)年	81歳	4月
一九八九(平成元年)	82歳	4月
一九九〇(平成2)年	83歳	3月
一九九一(平成3)年	84歳	11月
一九九三(平成5)年	86歳	2月

第2回成田山全国学生競書大会受賞者代表33人を引率し、日中青少年書道交流団団長として訪中
日本書道教育会議初代議長
日本の書展「フランス展」出品・訪仏
講演「書の芸術的特色」(於リヨン・市庁舎謁見の間、パリ・日本大使館広報文化センター)
講演「書の国際性と書教育」(於茨城県民センター)
同内容で名古屋においても講演
松本市音楽文化ホールメイン壁面のために「響」を揮毫し掲額される
ビデオ『上條信山書法』(同朋舎出版発行)
張裕釗・宮島大八師生紀念碑を揮毫し建立される(於中国河北省保定市)
『現代書法創作大系(全5巻)』(尚学図書発行)
講演「書の国際性と書教育の諸問題」・主催愛知県書教育研究会(於愛知県中小企業センター)
同内容で熊本市においても講演
日中蘭亭書会(中国・紹興)に参画し中国代表書家と交歓揮毫
記念切手奥の細道シリーズ揮毫(三枚)
日中書法交流展(香港)出品
須坂市新田町神明社の大幟を揮毫
第3回個展(書業六十年記念)(於東京日本橋東急百貨店)
信濃教育会主催第1回上條信山書展(於信濃教育会館) 以後4年連続開催
講演「信山書法について」(於信濃教育会館)
「昭和の書一〇〇選」展出品(於上野松坂屋) 一九九〇年広島・大阪に巡回
上條信山代表作品84点信濃教育会に寄贈
成田山全国競書大会顧問
日本書道教育会議副会長
書業六十年記念北京展(於中国工芸美術展覽館)
講演「信山中国展について」・主催信濃教育会(於信濃教育会館)
講演「書の特質」・主催信濃教育会(於信濃教育会館)
読売書法会常任総務
『新書写書教育事典』(木耳社発行)
謙慎書道会顧問



現代書道二十人展会場にて('97.1.3)



「望郷」と揮毫('96.5.15)



中国での交歓揮毫
作品を掲げるのは啓功('94.10)

一九九四(平成6)年	87歳	6月	国宝松本城天守碑を揮毫し建立される(於松本市)
		3月	外務省からの要請により「地花人愛」を揮毫しESCAP(国連アジア太平洋経済社会委員会)のタイ国際会議センターに掲額される
		4月	『書法基本帖(全5巻)』(木耳社発行)
		8月	上條信山展(於長野市東急百貨店)
		9月	上條信山展(於南安曇郡梓川アカデミア館・現松本市梓川アカデミア館)
		9月	上條信山展(於小県郡東部町文化会館・現東御市文化会館)
		10月	張裕釗・宮島詠士・上條信山書法展覧(於中国武漢市 黄鶴楼)
		10月	張裕釗・宮島詠士師生紀念碑、張裕釗公墓碑を揮毫し建立される(於中国湖北省鄂州市)
一九九五(平成7)年	88歳	4月	上條信山展(於北安曇郡池田町立美術館)
		9月	米寿記念個展(小品展) 於日本橋東急百貨店、揮毫碑拓本展 於武蔵野市民文化会館
		9月	自伝『硯上の塵』(同朋舎出版発行)
		9月	『上條信山作品集(Ⅱ)』(米寿記念行事実行委員会発行・大塚巧藝社制作)
		12月	信濃教育会寄贈作品が松本市に移管される
一九九六(平成8)年	89歳	8月	上條信山展(於松本市立博物館)
		8月	望郷碑を揮毫し建立される(於松本市)
		8月	松本市名誉市民の称号を受ける
		11月	文化功労者の顕彰を受ける
一九九七(平成9)年	89歳	2月12日	死去
		2月	正四位勲二等瑞宝章を追贈される
		8月	張裕釗陵園・張裕釗紀念館並びに門樓除幕(於中国湖北省鄂州市)
一九九八(平成10)年		3月	遺族より松本市に作品139点が寄贈される
二〇〇〇(平成12)年		12月	『上條信山書作品図録』(ほおずき書籍発行)
二〇〇一(平成13)年		4月	ビデオ『師生四代 友好の陵園』(有書象発行)
二〇〇二(平成14)年		6月	松本市美術館(上條信山記念展示室含む)開館
二〇〇五(平成17)年		11月	石に響く信山の書 揮毫碑拓本展(於東京銀座画廊美術館)
二〇〇六(平成18)年		7月	『上條信山臨書集(全5巻)』(有書象発行)
			書 壮心やまず上條信山 生誕百年記念展(於松本市美術館)